

## 東京外国為替市場委員会 第 156 回会合 議事録

開催日時 2012年10月16日 14:00～14:45  
場 所 日本銀行本店 新館9階中会議室B  
議 長 星野 昭  
副 議 長 中野 北斗  
副 議 長 梨本 忠彦  
書 記 齋藤 克仁  
出席委員 21名

### I. 委員の任期満了・再任について

星野議長より、宗川委員の委員としての任期が満了することが報告されました。宗川氏から、委員に再び立候補する意思が示され、全会一致で了承されました。

### II. 小委員会報告

#### 1. 運営小委員会

塚田委員長より、前回の本委員会以降の各種小委員会の取り組みの概要について、説明がありました。また、運営小委員会の場では、CFTC が先日公表した店頭デリバティブ規制に関する新たなレターの内容についても、議論を行ったとの報告がありました。

#### 2. BCP 小委員会

星野議長より、外国為替取引高サーベイの参加金融機関の増加を受けて、BCP Web の利用アカウント数が増加する結果、BCP Web の契約料金の変更が期中に発生するため、「東京外国為替市場の業務継続体制の運営等に関する規則」を一部変更したいとの発言がありました。星野氏より、変更案の説明があり、委員の間で了承されました。

### III. CFTC による店頭デリバティブ規制に関する新たなレターについて

星野議長より、CFTC が先日公表した店頭デリバティブ規制に関する新たなレターの内容について、報告がありました。具体的には、今回のレターでは、①取引相手としての「米国人 (US person)」の中には、米国銀行の海外支店は含まれないこと、②外為スワップと外為フォワードについては、これらをスワップの定義に含めないとの最終決定が本年12月末までになされた場合は、スワップ・ディーラーとしての登録の義務付けの基準となるスワップ取引額の計算に当たって、遡及的に除外できることなどが示されているとの説明があり、委員の間で内容が共有されました。

以 上

(別紙)

東京外国為替市場委員会委員名簿 (10月16日現在)

<委員>

議長	○星野 昭	(三菱東京 UFJ 銀行)
副議長・市場調査小委員長	○中野 北斗	(みずほコーポレート銀行)
副議長	○梨本 忠彦	(パークレイズ銀行)
書記	○齋藤 克仁	(日本銀行)
運営小委員長	○塚田 常雅	(三菱 UFJ 信託銀行)
広報小委員長	○大木 一寛	(EBS デイリング リソース ジャパン)
教育／Code of Conduct 小委員長	○好川 弘一	(クレディスイス証券)
法律問題小委員長	○今西 晋嗣	(三井住友信託銀行)
オペレーション小委員長	○福島 亮一	(みずほ銀行)
E コマース小委員長	○高木 晴久	(三井住友銀行)
NDF 慣行整備小委員長	○廣田 泰司	(JP モルガン・チェース銀行)
	○宗川 雄視	(ロイター・ジャパン)
	○石川 昌信	(トウキョウフレックス上田ハロー)
	○大西 知生	(ドイツ証券)
	○岩田 智宏	(ゴールドマン・サックス証券)
	大柿 敦郎	(野村証券)
	花生 浩介	(香港上海銀行)
	○Joseph A. Kraft Jr.	(バンク・オブ・アメリカ)

<準委員>

○伊藤 祐介	(マネー・ブローカーズ・アソシエーション)
○筒井 慎一	(みずほコーポレート銀行)
○森 直樹	(三菱東京 UFJ 銀行)
○井出 穰治	(日本銀行)

<オブザーバー>

○飯塚 正明	(財務省)
--------	-------

(注) 敬称略 (順不同)。○は今回出席。